

第26回 関東産業衛生技術部会・研修会のご案内

関東産業衛生技術部会会長 田中茂（十文字学園女子大）

福島原子力発電所事故における作業者の放射線・放射性物質曝露防護を考える

東日本大震災により発生した、東京電力福島第一原子力発電所事故より生じた放射性物質による汚染に関し、発電所の復旧作業員は、専門的活動のため発電所内部やその周辺での作業により、放射性物質およびより高い量の放射線に曝露する可能性が危惧されています。特に原子炉冷却等作業に従事する復旧作業員については規定された保護具を使用し、厳重な管理の元に作業が行われているものの、6月10日には緊急時作業に従事した作業員が、放射線業務従事者の線量限度を超えて曝露したことが報告されました。東京電力からの報告では、この原因として、①マスクの適切な使用及び安定ヨウ素剤の服用の指示の遅れ並びに配備不足、②マスクの装着において眼鏡のテンプルにより隙間ができたこと等が報告されています。

本研修会では、現在働いている作業者の安全健康における問題や課題について整理するとともに、放射線の測定や放射性物質曝露防護のために使用されている労働衛生保護具の問題を含め、産業衛生技術部会としての対応を議論したいと考えております。

学会員以外の方でも参加できます。多くの方のご参加を期待しております。

- 日時：2011年12月5日（月） 13：30から17：00 （12時30分より受付開始）
- 場所：慶應義塾大学医学部 予防校舎 3階 講堂（地図、参照）
・・・・・・・・・・ 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
- 参加費：1000円（資料代として）
- 参加申し込み：（準備のため、参加希望者は前もってご連絡頂ければ幸いです。）
連絡先：田中茂（stanaka@jumonji-u.ac.jp TEL 090-2460-4279）

●研修プログラム

司会：田中茂（十文字学園女子大学人間生活学部）

13:30～14:30

福島第一原子力発電所事故における労働者の安全健康の課題と産業保健チームの役割
（財）労働科学研究所 国際協力センター 吉川徹

14:30～15:00

福島第一原子力発電所の事故における外部/内部被ばく測定の考え方と実際
（株）千代田テクノル 原子力技術部 根岸公一郎

15:00～15:15 休憩

15:15～15:45

放射性物質の曝露防護に使用されている化学防護服について
旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ(株) 防護服グループ 阪口 清弘

15:45～16:15

放射性物質の曝露防護に使用されている呼吸用保護具について
（株）千代田テクノル 原子力技術部 根岸公一郎
（財）労働科学研究所 国際協力センター 吉川徹

16:15～17:00

質疑応答

以上

慶應義塾大学

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

(当日の緊急の連絡先 : 田中茂の携帯09024604279)

